

シラバス詳細

タイトル「2024年度 人間学部」、カテゴリ「大学 人間-コミュニケーション社会学科」

科目情報

科目名	英文科目名
[[[地域社会学]]]	Sociology of Community
他学部他学科履修可否	クラス
○	2
担当教員	実務経験のある教員による授業科目
岩館豊	
学年	開講学期
1年	後期
開講時期	曜日・時限
後期	金 2
講義室	科目種別
C-202	講義
ナンバリング	科目区分
ENV1102131	環境と地域
単位区分	単位数
選必	2
キャリア該当科目	備考
ディプロマポリシー	直接参照URL
1. 人間学・社会学の諸分野の専門的知識を身につけ、社会問題を洞察することができる	https://portal.bgu.ac.jp/lcu-web/SC_06001B00_22/referenceDirect?subjectID=216100056276&formatCD=1

講義情報

授業の目的・到達目標

【授業の目的】

「地域社会」とは、経済や文化・歴史などにおいて、一定のまとまりとして意味をもって経験される、生活の集合的な基盤です。本授業では、第一部で地域社会学の基本的な視角を解説した上で、第二部では「郊外」と呼ばれる地域に焦点をあてて、主に日本の郊外研究を紹介していきます。そして、ふじみ野をはじめ、具体的な地域社会の事例分析を行なっていきます。これらを通じて、「地域社会」「ローカル」「コミュニティ」の概念を習得・更新していきながら、ポスト・グローバリゼーションやポストコロナ禍における地域社会を再創造するための方法とヒントをつかむことが目的です。

【到達目標】

- 地域社会学の基本的な視点を身につける。
- 郊外論の重要な概念について、具体的な事例を挙げながら説明できる
- ふじみ野をはじめとする具体的な地域を、地域社会学や郊外論の視点から考察できるようになる

授業概要

授業概要

1. オリエンテーション----自己紹介、授業計画、履修上の注意
2. 高度経済成長と地域社会
3. ポスト・グローバリゼーションと地域社会
4. コロナ禍と地域社会
5. 郊外という社会空間
6. 郊外論（1）：ショッピングモール
7. 郊外論（2）：常磐線中心主義
8. 郊外論（3）：国道16号線スタディーズ
9. 郊外論（4）：郊外団地研究
10. 郊外論（5）：ニュータウン
11. 期末レポートについて
12. 都市化と地域社会：旧大井町の経験
13. 戦争と地域社会：上福岡陸軍造兵廠の記憶と記録
14. 再都市化と地域社会
15. まとめとレポート課題提出

各回の授業内容

学習演題（予習・復習）

1～3回

予習・復習：オリエンテーションでおこなった授業の方向性その他の授業との関連性、および授業の流れを把握し(各90分程度)、配布された資料を整理しながら、次の授業の準備にとりかかる(各90分程度)。

4～7回

予習・復習：授業ごとに提示されるキーワードの確認(各120分程度)。提出される小課題にむけた予習をおこない、指示されたテーマに関連する文献や参考資料に目を配る(約120分程度)。

8～10回

予習・復習：提示されるキーワードの確認と定着を図る(各90分程度)。今後、事例研究が多くなるため、書籍あるいは情報検索を使い、取り上げる地域について下調べをしておく(各90分程度)。

11～14回

予習・復習：これまでの授業で配布された資料を精査し(各120分程度)、キーワードを中心にまとめながら、期末レポートに向けた準備にとりかかる(各120分程度)。

*日ごろから、地域社会に関する出来事や状況に関心を持ち、さまざまなメディアを通じて情報を得たり、現場へと赴くなどして地域社会そのものにふれてほしいと思います。

授業方法

- ・講義形式を基本としながら、映像資料を活用しながら授業の内容の理解を深めていきます。
- ・授業の進行に応じてグループディスカッションやミニワークなども行います。
- ・ゲスト講師をお呼びした授業を行う可能性があります。
- ・ふじみ野市近隣の地域フィールドワークを行う可能性があります。

成績評価の基準

リアクションペーパーや発言など授業への参加状況（30%）、小レポートなど課題提出（30%）、期末レポート（40%）で評価します。

教科書

教科書は使用しません。

参考書

塚田修一・西田善行編著, 2018, 『国道16号線スタディーズ――二〇〇〇年代の郊外とロードサイドを読む』青弓社。
佐幸信介, 2021, 『空間と統治の社会学――住宅・郊外・ステイホーム』, 青弓社。
平井太郎・松尾浩一郎・山口恵子, 2022, 『地域・都市の社会学――実感から問いを深める理論と方法』有斐閣。
そのほか、授業の中で紹介していきます。

実務経験のある教員による授業

実務経験の内容

-

実務経験の当該科目への活用

-